

第46回 **札幌市PTA
広報紙まつり受賞作**
受賞おめでとうございます

広報紙まつり表彰式

2月19日(月)、ちえりあ6階講堂にて第46回広報紙まつり表彰式が行われました。今年度は3年ぶりに対面での審査会を行い、審査委員と広報委員が顔を合わせ広報紙について審議することができました。審査は①「PTA活動」の紹介②積極的な企画性・アイデアがみられるか③全体のバランス(見やすさ・読みやすさ)の3つの基準で行い、札幌市教育委員会、毎日新聞社、日本教育新聞社、北海道通信社、札幌市PTA協議会からそれぞれ最優秀賞・優秀賞を各1点、計10作品が選ばれ表彰されました。また、審査委員長の北海道通

信社 参与 村上直史様から入賞作品各紙について、優れている点や改良の余地がある点について丁寧にアドバイスしていただき、今後の広報紙作りの参考になりました。



教育長賞 最優秀賞

円山小学校
保護者と先生の会
「Smile」

講評

美しい写真と卓越したレイアウトで構成されていて、とても見やすく綺麗な広報紙。先生方による「コロナ後の学校の取組」についての対談は丁寧な取材と高い構成力が光る企画内容。他都市からの転入生も多い学校らしい、円山小独自の文化やスキー学習の紹介などに加えて、PTA活動の紹介もバランスの良い写真と文で秀逸。広報委員の皆さんが力を合わせて、丁寧に取組を進めていこうと頑張る姿が伝わる素晴らしい広報紙です。

北海道通信社賞 最優秀賞

西野中学校
保護者と教師の会
「蒼穹(あおぞら)」

講評

全体を通して読みやすい記事とレイアウトが秀逸です。カラフルな中にも穏やかな色調を意識して統一感を持たせたり、QRコードで学校HPとの連携を図ったり工夫が満載でした。アンケートを基にした部活動の実態調査から広報部員さんの高い取材力・構成力が伺えますし、文化祭に合わせて制作されたPTAコラージュパネルのページを強調し、「クマに翻弄された校外学習!」…など、学年ごとの見出しが読者の興味を引いたことでしょう。

4年ぶり **広報紙まつり作品展示**

2月19日~22日の4日間、ちえりあ1階ロビーにて広報紙まつりの作品展示を行いました。展示を希望した18校の広報紙に加え、今回は各区PTA連合会発行の広報紙も一緒に展示しました。



広報紙の貸し出しを行っています

受賞広報紙はPTA会員の方に貸し出すことができます。貸し出しを希望される方は札幌市PTA協議会事務局までご連絡ください。

日本教育新聞社賞 優秀賞

桑園小学校 保護者と先生の会
「桑の木」

講評

家庭学習アンケートの見事な解説をはじめ、各記事の紙面構成と内容に創意工夫がなされ、落ち着いた色調により大変読みやすく好感度の高い広報紙となっております。

第46回 **札幌市PTA
広報紙まつり全体審査評**

ご応募くださいました各PTA広報担当の皆様、お疲れ様でした。そして今回受賞された広報担当の皆様、おめでとうございます。コロナ禍前の日常に戻りましたら「広報魂」は脈々と引き継がれていました。きょう広報紙まつりが開催されたことをうれしく思います。私たち審査委員はすべての広報紙を拝見し、大変魅力的で特色ある紙面づくりにかける「熱く強い思い」を感じました。特筆すべきは、広報経験の少ない方ばかりでも一生懸命自校のPTA活動紹介を記事として掲載できたこと。これは「アマチュア」精神で進めるPTA広報活動の一つの成功事例であり、今後の基本的な指針となるものです。プロでなくてもできるのです。私はこのように、「広報復活の輪」の広がりを感じてきています。今回も3つの観点、①PTA活動の紹介②積極的な企画性・アイデア③全体のバランス(見やすさ・読みやすさ)で審査いたしました。どの作品も取材力・構成力が見事で、個性引き立つ素晴らしい作品ばかりでした。

◎「読んでみたい!」が入口で出口
手に取ってもらおう広報紙への思い、これは全作品に表れていました。時代を表すQRコードも少しずつ登場するなど汎用性に富む工夫もありました。全体構成とともに、編集後記コーナーも一つの楽しみでした。作成後の「思い」がさりげなく散りばめられているからです。楽しく参加した方、絆が深まった方、作成した過程で感動し、感謝の気持ちをもった方、経験者がいない中、手探りで進める中で何かを感じられた方…。心に残る素晴らしい活動・体験だったことでしょう。記録として残り、やりがいを感じると同時に、費用対効果も念頭に置く時代。今後、「日常に戻った学校生活」にフォーカスし、本来の姿に戻ることを心から願っています。読者の「読んでみたい!」が入口(興味)でもあり出口(目的)なのでから…。

◎企画が紙面を左右する
「読まれるPTA広報紙づくり」(日刊「優秀広報紙集」)にあるように、今回の作品も、あいさつ・依頼原稿ばかりでなく、アンケート調査あり、新しいテーマへのチャレンジあり、またよくある「学校新聞的な紙面」にしない工夫もありました。身近で興味を引くテーマを取り上げるなど、その企画自体が広報紙を左右することを再確認しました。経験者が少なくてもできる新しい広報スタイル、そして素朴な企画を考えつつ、次の世代への橋渡しをしていただけるよう心から願っています。
いつもご尽力いただいております札幌市PTA協議会広報委員会、役員並びに事務局の皆様、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。審査委員長 村上 直史(北海道通信社 参与)